

事業所名

放課後デイサービス暖母小笹

支援プログラム（参考様式）

作成日

8年

3月

1日

法人（事業所）理念		安心して利用でき、「心の支え」「豊かな生活の支え」を理念とし事業運営おこなう。	
支援方針		<p>小さな成長とちいさな成功の積み重ねを大切に支援する</p> <p>①その子を認め、長所を伸ばし「自分でできる事」を増やす。</p> <p>②その子に合った支援を行う。将来的に必要な「社会性」と「社会で屈しない力」を養う。</p> <p>③そのことご家族との連携を図り、思いやりのある「安全で安心した」質の高いサービスを提供する。</p>	
営業時間		平日：10：00～19：00 土祝・学校休業日：9：00～18：00	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<p>基本的な生活スキルを身に着けられるよう、特性に応じた対応をご家族と協力し、支援します。</p> <p>特性により、乱れがちな食事面、睡眠面、排泄面など課題をチェック表にて丁寧に分析し、個々の習慣化を支援します。</p> <p>家庭を中心に行政、医療、教育、福祉事業所などと連携し、スモールステップを組んで、安定した日々の生活の流れを支援します。</p>	
	運動・感覚	<p>それぞれの特性による、苦手な課題を感覚統合の視点から理解し、自信を持って活動できる様支援します。</p> <p>得意な力を最大限利用し個々に応じた体の使い方を体験や遊びの中で身に着けられるよう支援します。</p> <p>鈍感・敏感な感覚を好きな感覚を遊びの中や学習に取り入れ、徐々に緩和、実感できる様支援します。</p>	
	認知・行動	<p>生活するうえでのスキル、人とかかわる為のスキル、集団参加のスキル、社会人になる為のスキルなど、様々なスキルを身に着けるうえでの、基本的な注目・注意を、向ける。比較する。</p> <p>試行錯誤の方法などの概念を個々の状況に合わせて支援します。</p> <p>学校での課題行動に対して、保育所等訪問事業と連携し、適切なスキルを放デイで個別に支援を行い、学校との連携により解決していきます教科学習の漢字・読解・数字の概念など、特性により苦手となりがちな学習を特性に合わせた学習方法で苦手意識の緩和を支援します。</p>	
	言語 コミュニケーション	<p>人とかかわる、大集団の活動に参加する等、必ず必要な、言葉の理解、言葉やその他の方法で自分の思いやSOSを発信する方法やタイミングなど、個々の困り感に合わせて個別やグループで体験や遊びの中で学べるよう支援します。</p>	
	人間関係 社会性	<p>放デイ利用の際に、個々の特性や課題をグループカリキュラムのチェック表で分析し、職員の仲介のもとでイベントや外出などでグループ活動を行う。</p> <p>イベントなどの企画立案への個々にあった参加の方法を検討し、集団での活動を徐々に大きくして、大集団への般化的な支援を進める。</p> <p>高学年になったら、放課後で自宅での過ごし方を身に着け、徐々に放デイの頻度を検討し、自立支援を進めていきます。</p>	
家族支援	<p>放デイでの支援が安定したものについて、ご家庭での困り感に活かせるよう面談、家庭訪問を行い課題解決を支援する。</p> <p>サポートブックの作成補助により、特性理解につなげる。</p> <p>高学年は、放デイでの支援から徐々に家庭での過ごし方を身に着ける為、ご家族支援を充実していきます。</p> <p>毎年保護者会を実施し、児童の発達支援や支援の考え方について情報提供を行うとともに、保護者同士の交流や相談の機会を設け、育児に伴う不安や負担の軽減を図ります。</p>	移行支援	<p>多機能として行っておる保育所等訪問事業を利用し、スムーズな新奇環境への支援を行い、これまでの支援計画や支援実施について引き継ぐ。保護者へのサポートブック作成提案やの補助</p>
地域支援・地域連携	<p>本人支援（人間関係・社会性）の環境として、地域の行事への参加を企画（区のお祭り、避難訓練等）</p>	職員の質の向上	<p>同法人事業所全体での研修参加（事例検討会）</p> <p>全国児童発達支援協議会研修参加</p> <p>NPOポーターズ協会研修参加</p>
主な行事等	小笹喫茶・夏祭り・桜まつり・ハロウィンパーティー・クリスマス会・カラオケ大会・親子レクリエーション		